

令和6年度 山口コアカレッジ 自己評価表

1 教育方針

ITの変化に対応できる専門力を身に付け、社会や職場に貢献できる有為な人材を育てる。

2 教育目標

- (1) 資格取得指導を中心軸にした専門教育の充実
- (2) 職業意識の高揚と納得のいく就職の実現
- (3) きめ細かい学習指導と生活指導の徹底
- (4) 生き抜く力と人間関係力をもった芯の強い人材の育成

※ 適切… 4、ほぼ適切… 3、やや適切… 2、不適切… 1

★ 教員・学生 (無印：教員のみ)

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

	評価項目	※1～4を入力
★	ア 「教育方針や教育目標に基づいた運営が適切に行われているか？」 ※昨年と表現を変えています。	3.9
	イ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.2
★	ウ 教育方針・教育目標は、学生・家庭等に周知されているか？ ※昨年と表現を変えています。	3.1
	エ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.5

A 課題と今後の改善方法

イ	課題：① 社会経済のニーズを把握しつつも対応策の情報共有はない。 ② 社会経済のニーズについて、最新の情報を調査・分析することが必要。 改善策：① 会議的な情報共有は時間的に難しいので、該当する教員からの「積極的な情報発信」が必要。 ② 業界のニーズや県内や地元のニーズ等を関係者や卒業生から話を聞く。
ウ	課題：① 入学時や新年度初めに学生便覧での説明があり、校内にも掲示されているが、教育方針及び教育目標の学生への周知は十分でない。 ② 方針や目標の周知は入学時のみなので、忘れられてしまう。 ③ 学生、ご家庭ともに関心をもってもらうことは難しいと思料する。 改善策：① 入学時や新年度初め以外（後期初めのHRなど）でも教育方針・教育目標を再度説明するとよい。 ② 現状見える位置に掲示されているが、意識して見ている学生は少ないので、定期的（終業日など）に確認する時間を設ける。 ③ 成績や学費等の家庭連絡時に「ホームページで最新情報」の一言を添える。 ④ 定期的な配布物に、簡潔にまとめた資料を同封し、少しでも意識をもってもらう。

(2) 学校運営

評 価 項 目	※1～4を入力
ア 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9
イ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.8
ウ 運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	3.3
エ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.1
オ 教務・財務等の組織整備や意思決定システムは整備されているか	3.2
カ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.4
キ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.8
ク 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.1

A 課題と今後の改善方法

ク	課 題：業務の効率化を図っているが、効率化できる部分がまだまだたくさんある。 改善策：具体的な改善策の意見を集める。
エ	課 題：規定等でアップデートできないものもある。 改善策：規定体系や内容を整備する必要があると思われる。

B 特記事項

課 題：恒常業務が「教育」主体のため、「学校運営」と言う括りでの業務意識が薄い 改善策：教員向けに「学校運営」を軸とした話し合いの場を設ける。 ・HPやInstagram、YouTubeを通じた情報発信は、学校のことをより理解しやすくなっている。学校の雰囲気や実際の活動の様子を感じ取れるのは大きなメリットである。

(3) 教育活動

	評 価 項 目	※1~4を入力
	ア 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.9
	イ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間が確保されているか	3.9
★	ウ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.8
	エ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.8
	オ 関連分野の企業や団体等との連携により、カリキュラムの見直しがされているか？	3.9
	カ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.3
★	キ 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.0
★	ク カリキュラムの中で、資格取得等に関する指導体制が、体系的に位置づけられているか	3.9
	ケ 職員の能力（知識・技能・指導力育成）開発のための研修等が行われているか	3.3

A 課題と今後の改善方法

ウ	課 題：プログラム専門のコースで画像編集や動画作成の授業がある。 改善案：プログラミングの授業を増やす
カ	課 題：IT 分野のインターンシップ規定が明確でない
キ	課 題：基準があいまい 改善案：各教科に必要なコマ数の提示
ク	課 題：学生1人1人の受験する級が違う

B 特記事項

①	卒業生から在学時にはコースとあまり関係が薄いと思っていた授業が、社会に出て非常に役に立ったということを言っていた。このことを在學生に響くように伝えるのも大事だと感じた。
---	--

(4) 学修成果

	評 価 項 目	※1~4を入力
★	ア 就職率の向上が図られているか	3.6
★	イ 資格取得率の向上が図られているか	3.8
	ウ 退学率の低減が図られているか	3.6
	エ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.2

A 課題と今後の改善方法

B 特記事項

① 良好である。特別編成授業での効果が出ている。

② 学校を訪ねて来てくれる卒業生達に職場の様子や友達の現状などを聞くことができる。

③ 就職活動や資格取得についてチューターと話せる時間があると、自分から声をかけられない学生でも相談しやすい。

(5) 学生支援

	評 価 項 目	※1~4を入力
★	ア 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8
★	イ 学生相談に関する体制は整備されているか	3.8
★	ウ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.8
	エ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.3
	オ 学生の学習環境への支援は行われているか	3.7
★	カ 家庭と適切に連携しているか	3.3
	キ 卒業生への支援体制はあるか	3.3

A 課題と今後の改善方法

B 特記事項

① 就職活動については、毎年課題になっているが、学生自身の熱量に差がある。山口県内での就職活動の時期はあまり変化が感じられないが、県外では時期が早まるなど変化している。学業が疎かになってはいけないが、ガイダンスの時期を早めにするなど見直す必要も検討すべきではないかと思う。

② 同窓会に出席した卒業生から求人の依頼をされた。卒業生も就職先でそれなりのポストについているので、こういうことが今後も増えてくれればいいと思う。

③ 良好である

(6) 教育環境

	評 価 項 目	※1～4を入力
★	ア 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.4
★	イ 学校教育の場として先端技術の導入がある程度なされているか	3.6
★	ウ 防災・侵入者に対する体制は整備されているか	3.0

A 課題と今後の改善方法

ア 課 題：時々、通信環境が悪くなり、授業に支障が出てしまう。

改善案：ネット環境の強化

ア 課 題：昼食後の教室内の匂いが気になる。

改善案：消臭剤などを教室に常備してほしい。

ウ 課 題：① 防災・侵入者に対して、『災害等発生時における対応』（2022年9月）の「地震発生」「不審者の侵入」「避難経路図」はあるが、訓練がない。

② 災害等が発生した際の避難経路や対応を把握していない。

改善策：① 全校での防災訓練の実施

B 特記事項

・教室によって、座り心地の悪い椅子がある。

(7) 学生の受入れ募集

	評 価 項 目	※1～4を入力
ア	学生募集活動は、適正に行われているか	3.8
イ	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.7
ウ	学納金は妥当なものとなっているか	3.9

A 課題と今後の改善方法

イ 課 題：学生数が減少している。

改善策：ガイダンス等で学校の魅力を伝え、企業や医療機関からの求人数は増えており、内容についても以前より充実していることを伝えていく。

B 特記事項

良好である。

(8) 財務

評 価 項 目	※1~4を入力
ア 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.1
イ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.3
ウ 財務について計画監査が適正に行われているか	3.6
エ 財務情報公開の体制整備はできているか	3.5

A 課題と今後の改善方法

--

B 特記事項

① 教員に対して「財務」に対する情報共有がない。 ② 財務基盤は安定しているも、学生数の減少に伴い収益力が低下している。少子高齢化がより一層高まっていく中で、中長期的な収支安定化のための施策が必要と思う。 ③ 令和6年度は、前年に比べ学校外で学生の作品を展示する機会が増えて良かったと思う。さらに多くの場所で展示し学校のPR活動につなげていければよいと思う。
--

(9) 法令遵守

評 価 項 目	※1~4を入力
ア 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9
イ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.7
ウ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.9
エ 自己評価結果を公開しているか	3.8

A 課題と今後の改善方法

ア 課題 : 教員に対して「法令、専修学校設置基準等」に対する情報共有がない。 改善策 : 教員がどこまで「運営」に対して関わるか明確にする。

B 特記事項

--